

## 酒田市総合計画審議会 第1回市民生活部会 議事要旨

### 1. 日時

平成28年12月5日（月） 18:30～20:00

### 2. 場所

酒田市役所 第3委員会室

### 3. 出席者

【酒田市総合計画審議会委員 市民生活部会委員】

所 属	氏 名	備 考
酒田市市街地コミュニティ振興会連絡協議会 会長	小柴 勝	
八幡地域コミュニティ振興会連絡協議会会長	齋藤 文之	
酒田市消費者団体連絡協議会副会長	後藤 キク	
社会福祉法人酒田市社会福祉協議会会長	阿部 直善	副部会長
酒田市食生活改善推進協議会会長	佐藤 初子	
東北公益文科大学教授	武田 真理子	部会長

【事務局】

危機管理監、消防調整監、企画振興部長、地方創生調整監、市民部長、環境衛生調整監、健康福祉部長、建設部長、水道部長兼下水道技監、政策推進課

### 4. 議事内容

#### ○事務局より会議の成立について報告

- ・本日の出席委員は6人であり委員定数8人の半数以上となっていることから、酒田市総合計画審議会条例施行規則第4条の規定により、本日の会議は有効である。

#### (1) 現状と課題について

- ・資料1に沿って事務局より説明
- ・本資料は現時点のものであり、今後委員の意見を取り入れるとともに、必要に応じ各種データを追加し改訂版として取りまとめたいと考えている
- ・資料1中、本部会で議論いただく箇所 第2章、第3章第2節、第4章、第5章

なお、第3章第2節において（4）移住・定住の項目を追加している。

## ○現状と課題についての質疑・意見等

### 【健康増進について】

（委員）若い女性の喫煙、朝食を食べない若者の割合等の現状も課題になるのではないか。朝食習慣のない若者が子育て世代になると、子供たちの健康にも影響が出てくる。公益大学生でも、献血ができないケースが多いと聞いている。食、生活習慣が原因であり、こういった視点も必要ではないか。

### 【平均寿命・健康寿命について】

（委員）酒田市の男性の平均寿命が低いのは何故か、健診受診率との関連性があるのか等について、ただ表を示すだけでなく、可能な範囲で分析してもらいたい。

### 【保健師の訪問について】

（委員）自死について触れられていない。庄内は県内でも自死率が高く、精神保健の関連と合わせて触れるべきでは。

### 【地域医療の連携と充実】

（委員）八幡病院については地域住民の間でも色々な意見がある。時代に合った持続可能な医療体制が必要。

### 【地域福祉について】

（委員）相談事業が複雑困難化している点について、総合相談体制を市として考えられているか、どう対応していくという記載も必要では。

成年後見だけでなく、その前段階の福祉サービス利用援助事業も増加傾向にあるということを示してもらいたい。

### 【学童保育の待機児童について】

（委員）全小学校に配置されている学童保育について、公民館地区はまだ空いているが、市街地ではキャンセル待ちの状態と聞いた。現在どれくらい待機待ちなのか。

⇒ 現在の利用割合としては、低学年が全体の4分の3を占めている。確かに公民館地区と比べると市街地の利用学童は多いが、極端に待機待ちということはないと認識している。ただし、指導者の確保という観点からは、なかなか一挙に引き受けるということが難しい状況にはある。

（委員）女性の社会進出という点からも、働きたい方をしっかりサポートできる体制を構築していく視点も必要ではないかと思う。

### 【児童福祉について】

（委員）子どもの貧困対策等について、市民が既に取り組みだしているので、応援するという姿勢が必要では。

### 【地域コミュニティについて】

（委員）市民生活を維持しているのは、自治会長、コミ振、民生委員など日々地域で活動している人達だと、市にも再認識してもらいたい。地域活動の担い手をどう育成していくか、そ

れに市がどう関わっていくのか議論が必要。日向地域のように住民自ら考え活動している例もある。市として自治会、コミュニティ振興会にどんな役割分担を期待するのか。この機会に整理すべき。

(委員) 少子高齢化により、地域活動が難しくなっていると記載があるが、小・中・高校生から自治活動の重要性について知ってもらう必要があるのでは。現役世代からの協力が少ない今、子どもの頃から知ってもらうべきと常々思っていた。学校から、ふれあいの機会を設けてもらってコミセン活動に顔を出すようになってきたが、まだ不足と思っている。

自治会長の業務が多いので、役割分担を考えていかないと後継者が育たなくなる。

(委員) 自治会役員の担い手について、次の世代が引き継いでいくためには学校での教育も必要。コミセン事業について、限られた予算、マンパワー不足の中でも日向でのワークショップでは、公益大生の協力を受け、色々なアイデアが出てくる。関係機関との連携が必要。

日向地区では、2名の地域おこし協力隊が地域おこしに取り組んでおり、地域に新しい風が吹いている。効果はこれからだが、ありがたいことである。

(委員) 地域コミュニティの限界は課題でもあるが、日向ワークショップのように、既に取り組んでいる内容を改訂版に反映させてみては。

#### **【中山間地域等振興について】**

(委員) 日常生活の困難化は、中山間地域に限った話ではない、という認識を持つ必要がある。

#### **【男女共同参画社会について】**

(委員) ワークライフバランスが進まないことは大きな課題。学童、担い手など多くに関連している。次期総合計画では女性・若者の視点が大事と考える。現状と課題では、女性の視点だけでなく男性の育児休暇取得率など指標があると良い。

#### **【国際交流・国内交流について】**

(委員) 次の10年の大きなテーマと思う。交流人口、産業の観光も重要だが、実際に居住している方たちについて現状を加筆して欲しい。異文化受け入れという点で移住・定住にも関連してくる。

#### **【消防、救急、防災について】**

(委員) 高齢者世帯からの火災の発生については、消防だけでは限界があるため、自治会、コミュニティ振興会、社会福祉協議会、民間の活動をセットで行う必要がある。

#### **【空き家対策について】**

(委員) サロン等で活用したいというニーズに対応していきたい。住民が活用する視点を入れてもらいたい。サービス付き高齢者住宅が増えればこれからどんどんそういった人が増えていく。

#### **【個人住宅の耐震化推進について】**

(委員) 地震対策の出前講座を呼んでみて、住宅の耐震化の補助事業が多いことを知った。こうした事業が末端まで届くようさらなるPRをお願いしたい。

#### **【悪質商法被害防止について】**

(委員) 悪質商法を防ぐ情報共有、対策方法等、自分たちのできることからやっていきたいと考えている。

### 【環境保全・自然保護について】

(委員) ごみ屋敷、猫屋敷について、今後も増加が予想される。こういった問題への活動をしている民間団体や住民等への支援を考えてもらいたい。

### 【ごみ処理について】

(委員) 酒田市は、家庭系ごみ一人1日あたりのごみ搬出量が、県内13市で最も多いと資料にあった。減量について市民1人1人の意識向上が必要。

リサイクル関係で、最近はアナウンスしながらの廃品回収車は少なくなったように思う。酒田市の指定事業者は広報等でお知らせした方が良いと感じていた。

(委員) 本市のごみ排出量が多いのは何故か。

⇒ 本市の焼却施設の性能が非常に高いこと、ごみ袋が有料化されていないことが要因の一つとして考えられる。

ごみ袋が有料化されていないのは県内で庄内地域のみであり、その庄内が県内の家庭系ごみ一人1日あたりのごみ搬出量の多さが1, 2位となっている。市民意識は重要な視点と考える。

(委員) コミ振の事業で、施設見学や出前講座を開催しているが、皆必要な視点という。例えば主婦層等へのゴミ処理の啓発の裾野を広げていく必要があるのではないか。

また、ごみ袋に名前を記載する欄があると思うが、記名を徹底してはどうか。

(委員) ごみ出しについては各自治会の管理となっているため、自治会間で差があるのが現状のようだ。

最終処分場を見学に行ったことがあるが、現場を見てもらい、現状を知ってもらうことが、話を聞くことより効果的ではないか。

(委員) 地域の声を伝えたい。性能の良い焼却炉をつくったのは、埋立処分場の延命化もあるということを知っている人は知っている。その延命化が財政的にどう効果があったのか。高温で何でも燃やせるため分別の数が少ないことも、ごみ搬出量が多いことに影響しているのではないかと言う人もいる。現状を書くだけではなく、そういった声に対する答えも丁寧に書いたほうが良い。

市民意識も課題と言われているが、市民は協力している意識になっている。協力していないように書かれてもどうか。

### 【公園都市構想・潤いのある公園整備について】

(委員) 手づくり公園整備事業について、空き地を公園化するのか、既にある公園用地を整備するのか。

⇒ 市で管理している公園を市民の手で作っていただく事業。

### 【全体について】

(委員) 地域住民の声、市民が既に行っている活動の情報、課題等も入れて頂きたい。評価項目としてがんばっていることももっと記載してほしい。

「現状と課題」の原因等さらなる分析を入れてはどうかとの提案もあった。

## (2) 未来会議における市民意識の傾向について

・資料2に沿って事務局より説明

### ○未来会議についての質疑・意見等

(委員) 中学生が青年会議所企画の国際交流イベントに参加して、自分たちのまちについて話し合っていたことが記憶に印象的に残っている。国際交流は、縁が無くとも開拓することがあってもよいのではないか。例えば酒田市内の学校は青少年赤十字の加盟校が少ないなど県内地区とは意識が違うが、青少年赤十字に加盟することでの国際交流もある。教育の分野だけでない観点を持って未来会議に中学生が参加しているのを見て感じた。

### ○次回部会に向けて

(委員) こうあるべき、こうあってほしい、という真剣な議論は頼もしいが、この酒田で私だったら何ができるかという発想を持ってもらいたい。市民、企業、行政が協働で活動する、そんな自立した市民を増やしていくためにはどうするかを考えたい。

(委員) 現状と課題でも前向きな情報と、原因分析が必要。また現状維持、課題解決だけでなく新しいことに対応、チャレンジできる人づくり、発想がテーマになる。それに対応できる行政の体制づくり、コミュニティを総合的に捉えられる部署が不可欠。

### ○連絡事項（事務局より）

- ・現状と課題の議論について、追加で意見があれば FAX 等でお知らせいただきたい。
- ・現状と課題の扱いについては現時点のものであり、今後、加筆修正しながら年度内に改訂版をとりまとめる。
- ・本日の部会で出た意見、提案については、次回部会までにとりまとめたものを送付する。
- ・次回の部会の日程について、本日の議論を踏まえ、どういう基本構想、計画にするかということ議論することになると思われるが、年明けに部会を開催する方向で改めて日程調整をさせていただきたい。

以 上